

Internet Week 2022

インターネットの羅針盤 ～針路を未来に取れ～

開幕!

Internet Week 2022を、11月21日(月)から11月30日(水)にかけて開催します。今年は3年ぶりの現地開催も含めた、ハイブリッド形式での開催となります。本号の特集では、実行委員長の挨拶とともに、その概要をお知らせします。

変わらぬ使命と変わりゆく役割

～Internet Week 2022開催によせて～

Internet Week 2022
実行委員長

JPNIC常務理事 長谷部克幸



今年からInternet Weekの実行委員長を務めます、JPNIC常務理事の長谷部克幸です。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 新たな四半世紀のスタートに、変わらぬ使命を再確認して

多くの方に支えられて、Internet Weekは昨年2021年に25周年を迎えました。今年は新たな四半世紀へのスタートです。この節目の年に、あらためてInternet Weekの役割を考えてみます。

Internet Weekの前身は「IP Meeting」です。今では最終日に実施するInternet Week締めめのプログラムとしてお馴染みかと思えます。1990年、インターネットが学術・研究目的で使われ始めた時に、インターネットの運用に関わる人々が一堂に会し、課題解決を行う場として始まりました。Internet Weekと名を変えたのは1997年、インターネットが一般にも広く使われ始め、多くの技術者が必要とされた頃です。そのような方々に正しい情報を伝える場として、60以上のセッションを擁するインターネットの技術に関する総合イベントとなりました。

それぞれの分野で第一人者の方々に講師を迎え、インターネットのことを学びたいなら「Internet Week」しかないと言われました。これからインターネットに関わる方に、自身の知識を常にアップデートしたい方のために、正しい情報を提供することは、今後も変わらずInternet Weekの使命と言えるでしょう。

■ 変わりゆくもの — インターネットは「みんなのもの」へ

一方で、Internet Weekが始まった頃と比べると、インターネットを取りまく環境は大きく変わりました。例えば2021年9月に発足したデジタル庁が「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を」と掲げたように、インターネットはごく一部の関係者や最新技術に詳しい人々だけが使うものではなくになりました。むしろ、今インターネットから遠いところにある分野や人々にも積極的に目を向けて巻き込んで、使っていただけるようにするものになりました。

また先ほど述べたように、知識の習得という点では、当時はInternet Weekが唯一と言っていいほどの役割を果たしていましたが、現在はどうか。大小さまざまなイベント・セミナー・勉強会が開催され、この数年の急激なオンライン開催、オンデマンド配信対応なども相まって、学ぶ場や手段に関して私たちは多くの選択肢を手に入れています。

このような中で、Internet Weekはどうあるべきか。まさに今のインターネットを総覧できる場でありたいと考えます。この1年のインターネットに関する技術動向、社会動向、各種事象に対する傾向と対策などが、Internet Weekに来ればわかるという状態です。もっと詳しく知りたい、関係者間で議論したい時には、テーマや対象者をより絞って深掘りするようなイベント・セミナー・勉強会を探してさらに知見を深める。Internet Weekをそのように活用いただけたら幸いです。

■ 今年のテーマに込めた想い

今年のテーマは、「インターネットの羅針盤 ～針路を未来に取れ～」です。まさに先ほど述べたような、Internet Weekがインターネットに関わる方々の羅針盤でありたい、という想いを込めました。ますます巧妙化するサイバー攻撃、「インターネットの精神」をあらためて見つめ直し、考えさせられる社会問題など、私たちが考え、議論すべきことは多くあります。このような航海に細心の注意を払うべき局面で、どちらの方に進むべきかを指し示す、あるいはどちらの方に進むべきか、議論できる場にしたいと考えています。

また、これから1年間、IETF 116(2023年3月)、IGF2023(2023年秋)と、二つの国際会議が日本で開催されます。日本にいながら、世界中の関係者ともダイナミックな議論に参加できる年でもあります。その2023年を前にしての情報収集にもご活用いただけるプログラムとなっています。

■ Internet Weekの新たな試み — ハイブリッド開催

今年の新しい挑戦の一つが、ハイブリッド開催です。過去2年は新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催でしたが、今年は会期後半の3日間は、オンライン参加に加え、オフライン会場参加もご提供する予定です。特に講演者と参加者による活発な意見交換を期待するプログラムについては、ハイブリッドで開催します。

もちろん、本稿執筆時点ではまだ予断を許さない状況ではありますので、当日の現地参加が叶わない方もいるかもしれません。また、この数年で働き方が大きく変わるなどして、引き続きオンライン参加を希望する方もいるでしょう。現地参加できない方向けの「おまけ」的な扱いだった以前とは異なり、オンライン参加の方も同じように質問し、意見が言える場となるよう、インターネットの力を最大限活用していきます。今年も多くの方のご参加をお待ちしています。

Internet Week 2022 プログラム <https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/>

参加申込ページ

※下記の内容は2022年11月8日(火)時点のものです。
最新の情報はInternet Week 2022のWebサイトをご覧ください。

<https://www.nic.ad.jp/iw2022/apply/main/>

オンラインWeek 11月21日(月)～25日(金)

11/21(月)	10:00～10:45	[C11] 独力でダークファイバを使ってみた話	ネットワーク運用管理
	11:00～11:45	[C12] 5Gモバイルネットワーク入門	ネットワーク運用管理
	13:00～15:45	[C13] 取捨選択できる運用組織	
	16:00～16:45	[C14] Wi-Fi航海図 ～みえない電波を理解する～	ネットワーク運用管理
	17:00～18:45	[C15] ルーティングセキュリティーインターネット運用の羅針盤ー	ネットワーク運用管理
11/22(火)	10:00～10:45	[C21] コンテンツプロバイダがIPv6対応するための7ステップ	IPv6
	11:00～11:45	[C22] QoEからみたIPv6 ～CDNおよびストリーミング事業者が語る～	IPv6
	13:00～16:00	[H2] AWSクラウドによるIPv6対応Webサイト構築ハンズオン	ハンズオン
11/24(木)	11:00～11:45	[C31] スプリンターネットを読み解く	社会派
	13:00～14:45	[C33] 【学生・若手歓迎】「セキュリティの仕事、どんなことをしているの?どうしたらなるの?」	セキュリティ
	15:00～16:45	[C34] サイバー攻撃2022	セキュリティ
	17:00～17:45	[C35] サイバー攻撃情報連携の羅針盤	セキュリティ
	18:00～18:45	[C36] サイバー攻撃を止めるには? 攻撃の動向&abuse対応依頼入門	セキュリティ
	19:00～20:30	[B3] Abuse BoF	
11/25(金)	10:00～10:45	[C42] PSIRTとSBOMの重要性について	セキュリティ
	11:00～11:45	[C41] NOTICEとかIoTセキュリティとか	セキュリティ
	13:00～13:45	[C43] Threat Intelligence の活用によるセキュリティ対策の効率化と高度化	セキュリティ
	14:00～14:45	[C44] ゼロからはじめるOSINT(Open Source Intelligence)	セキュリティ
	15:00～15:45	[C45] Cyber Hygiene Hunting:セキュリティ実効性確認のすすめ	セキュリティ
	16:00～16:45	[C46] セキュア開発との向き合い方 ～実践して初めてわかる要所と課題感～	セキュリティ
	17:00～17:45	[C47] これからのセキュリティ組織の道標	セキュリティ
	18:00～18:45	[C48] 情報処理安全確保支援士が活躍する社会をめざして	セキュリティ

ハイブリッドWeek 11月28日(月)～30日(水)

11/28(月)	10:00～12:45	[C51] みんな集まれ! インターネットに関する国際標準化のついで 第1部 標準化って何なのか? 日本の取り組み(チュートリアル) 第2部 パネルディスカッションー使われる技術や制度に携わる魅力と国内での捉え方ー 第3部 2023年3月 IETF116横浜に参加しよう!	
	13:00～13:45	13:00～13:20 [L51] トラフィック分析/可視化のあり方ー効果的な分析を探る [提供] インターネットマルチフィード株式会社 13:25～13:45 [提供] 株式会社SRA	ランチタイムセミナー
	14:00～15:45	[C52] 初のハイブリッド開催も支える! Internet Week 2022配信お悩み相談室	
	16:00～17:45	[C53] 激情の劇場 プラットフォームを信じていいですか?@スナックまさこ2.0	社会派
	18:00～18:45	[C54] Peering入門	ネットワーク運用管理
19:00～20:30	[B5] Peering in Japan BoF		
11/29(火)	10:00～11:45	[C61] インターネット広告の羅針盤ーポストクッキー、嵐の時代	
	12:00～12:45	[L6] DNSの弱点を振り返り、今後の針路について考えるーランチのおともにDNSー [提供] 株式会社日本レジストリサービス	ランチタイムセミナー
	13:00～18:45	[C63] DNS DAY - DNS Update - IETF/RFC動向 - DNSソフトウェア動向 - ドメイン名のライフサイクルマネージメント - ブランドを守るために必要な送信ドメイン認証	
	19:00～20:30	[B6] 日本DNSオペレーターズグループ BoF	
11/30(水)	10:00～11:30	[C71] Web3の羅針盤	
	11:45～12:25	11:45～12:05 [L71] containerlabで始めるルータ遊び [提供] 日本インターネットエクスチェンジ株式会社 12:05～12:25 [提供] 株式会社GEAR	ランチタイムセミナー
	12:40～14:15	[C72] サステナブルなインターネットのための情報の健康のすすめ	社会派
	14:30～18:30	[C73] IP Meeting 2022ーインターネットの羅針盤ー針路を未来に取れー 第1部 インターネット運用動向2022 第2部 IGF2023を覗き、情報社会のいろんなことを語ろう 第3部 2030年目標への羅針盤 第4部 2023年に向けて(クロージング)	

巻頭言
 特集
 JPNIC 拡張委員会報告
 インターネットの未来
 PICK OUT
 JPNIC 拡張委員会
 Internet You
 インターネットの未来
 JPNIC 拡張委員会
 インターネットの未来
 統計情報
 会議イベント
 From JPNIC
 編集後記
 お読みください



正式名称

Internet Week 2022

<https://www.nic.ad.jp/iw2022/>



Facebook : <https://www.facebook.com/InternetWeek>

Twitter : https://twitter.com/InternetWeek_jp

ハッシュタグは #iw2022jp

テーマ

「インターネットの羅針盤～針路を未来に取れ～」

会場

オンライン + 東京大学伊藤謝恩ホール

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/iirc/ja/access.html>

※オフライン会場はハイブリッドWeekのみ提供

開催日程

2022年11月21日(月)から11月30日(水) ※土日祝日を除く

[オンライン Week]

11月21日(月)、22日(火)、24日(木)、25日(金)

[ハイブリッド Week]

11月28日(月)～30日(水)

開催目的

1. インターネットの発展を推進する
2. インターネットに関する議論の場・交流の場を提供する
3. セミナー開催によるインターネット基盤技術の普及を図る

対象者

インターネットの技術者および

インターネット技術と社会動向に興味のある方

内容

インターネットに関するチュートリアル、最新動向セミナー、ハンズオンセミナー、協賛団体セミナー、BoF等

主催

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

協賛団体

NTTコミュニケーションズ株式会社
株式会社日本レジストリサービス
Asia Pacific Network Information Centre
インターネットマルチフィード株式会社
株式会社SRA
株式会社GEAR
KDDI株式会社
日本インターネットエクスチェンジ株式会社
VIAVIソリューションズ株式会社

後援 (2022年11月4日時点)

総務省/文部科学省/デジタル庁
一般社団法人ICT-ISAC
特定非営利活動法人ITコーディネータ協会(ITCA)
IPv6普及・高度化推進協議会(v6pc)
一般財団法人インターネット協会(IAJapan)
Internet Society Japan Chapter(ISOC-JP)
仮想化インフラストラクチャ・オペレーターズグループ(VIOPS)
一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター(JPCERT/CC)
一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCCS)
一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)
一般社団法人情報処理安全確保支援士会(JP-RISSA)
一般社団法人セキュリティ対策推進協議会(SPREAD)
一般社団法人ソフトウェア協会(SAJ)
一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)
一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)
日本MSP協会(MSPJ)
一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)
日本セキュリティオペレーション事業者協議会(ISOG-J)
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会(JSSEC)
日本ネットワーク・オペレーターズ・グループ(JANOG)
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)
フィッシング対策協議会
日本UNIXユーザ会(jus)
WIDEプロジェクト(WIDE)

企画

Internet Week 2022 プログラム委員会